



愛知工業大学情報電子専門学校  
愛知工業大学名電高校  
愛知工業大学附属中学校

目次

大学の新体制	2
進む施設整備	3
人事異動等	4-8
設置校卒業式	9
設置校入学式	10
表彰関係	11
愛名会便り等	12

発行所  
名古屋電気学園  
〒470-0392  
豊田市八草町八千草1247  
TEL (0565) 48-8177

# 大学の開学五十周年、三年後の学園百周年を念頭に学園などの組織、人事見直し

## 理事長、学長が年度始め式で教職員に一層の尽力を要望

学園の新規採用者、任命者及び昇格者への辞令交付式、年度始め式、設置校のトップを切る愛知工業大学入学式等が四月一日、本部棟、大学施設内で相次いで行われ、平成二十一年度のスタートを切りました。また、学園は四月一日付で、組織変更と人事異動を行いました。年度始め式で後藤淳理事長は、今年、開学五十周年を迎える大学、三年後に創立百周年となる学園発展に向けて、教職員の一層の尽力を呼びかけました。四月から工学部、経営学部、情報科学部の三学部体制となった愛工大の本年度スタッフも決まりました。



年度始め式で教職員を前にあいさつする後藤淳理事長

年度始め式は、八草キャンパス10号館二階大講義室で行われ、後藤淳理事長、後藤泰之学長が、それぞれあいさつ。その中で理事長は「大学は今年、開学五十周年を迎え、名古屋電気学講習所としてスタートした学園もあと三年で百周年を迎えます」と述べ、学園の発展のために

教職員の一層の尽力を呼びかけました。学長も入試状況の回復に触れ「皆さんが危機意識を共有して、一致団結した結果です。今後とも力を合わせ、頑張りましょう」と、あいさつしました。大学の発展に功労のあった教職員に贈られる学長賞の発表、表彰、新規教職員らの紹介も行われました。(学長賞受賞者は十一ページに掲載)

### 後藤淳理事長のあいさつ要旨



今日から、平成21年度がスタートします。昨年来の経済不況の波は、まだ、しばらく続くだろうと思います。その中で学園の運営、組織については、一部見直しをして4月から実施します。また、大学も4月から3学部となり、(名古屋市中千種区の)自由ヶ丘に、来年春開設を目指して、経営学部の新キャンパス建設を進めています。工科系大学から(経営学部という)文系が生まれるのは、画期的なことだと思います。

大学は、昭和34年に(名古屋市中千種区の)若水で産声を上げ、昭和40年に(豊田市八草町八千草に)用地を購入、各学科ごとに順次、移ってきました。キャンパス内はほぼ整備されましたが、建物は耐震化などで見直しの必要があり、まず、1号館を取り壊し、その跡に情報科学部を中心とする新1号館を建てる、というような様々な取り組みを行っていきます。あと3年後には、名古屋電気学講習所としてスタートした名古屋電気学園が、100周年を迎えます。その時期は、ちょうど欧米から様々な新しい科学、技術が(日本へ)入ってきた時であり、(技術者の人材育成を求める)産業界の要望でできたのが本学園です。現在の世界不況の中でも、資源のない日本では最終的に、「技術の力」が求められており、学園の果たす役割は大きいと思います。皆さんの持てる力を発揮して、本年度も学園発展のため一層のご尽力をお願いします。

### 中国・テレビ局が理事長取材

中国で六月から全国放映  
中国中央電視台(北京)が、六月から全国放映する番組「新中国体育六十年」(仮称)のため五月一、七日、後藤淳理事長や豊田市八草町の愛知工業大学八草キャンパスを取材して回りました。番組は、各種スポーツの歴史を関係者の取材等を通してシリーズで紹介。その中の卓球では中国卓球団参加で日中正常化等につながった昭和



四十六年の名古屋・世界卓球選手権大会を取り上げます。一日は電台プロデューサー二人が、名古屋市内の理事長宅を訪れ、当時、日本卓球協会会長で学園理事長・学長の後藤鉦二先生が中国卓球団を大会に招待した経緯等を取材しました。(写真は取材風景)

愛工大「平成21年度新体制」決まる



新設の経営学部長に近藤教授、同じく情報科学部長に阿部教授のほか、基礎教育センター長に柳井教授、教学センター長に山田教授、同副センター長に服部教授、入試センター長に建部教授、高大連携推進室長に鈴木教授、戦略的大学連携室長に曾我部教授が

総長	後藤 淳・理事長
学長	後藤 泰之・学長
副学長	稲垣 慎二・工学部教授
副学長	小嶋 憲三・工学部教授
工学部長	江口 一彦・工学部教授
経営情報科学部長	近藤 高司・経営学部教授
経営学部長	近藤 高司・経営学部教授
情報科学部長	阿部 圭一・情報科学部教授
基礎教育センター長	柳井 裕道・基礎教育センター教授
工学研究科長	小嶋 憲三・工学部教授
経営情報科学研究科長	野村健太郎・経営学部教授
学生支援本部長	稲垣 慎二・工学部教授
教学センター長	山田 英介・工学部教授
教学センター副センター長	服部 洋兒・経営学部教授
キャリアセンター長	村瀬 洋・工学部教授
エクステンションセンター長	森 豪・基礎教育センター教授
みらい工房長	岩永 弘之・工学部教授
学習支援センター長	安藤 光史・基礎教育センター教授
入試本部長	坪井 常世・工学部教授
入試センター長	建部 謙治・工学部教授
図書館長	井 研治・工学部教授
計算センター長	飯吉 僚・工学部教授
研究支援本部長	酒井 忠雄・工学部教授
総合技術研究所長	架谷 昌信・工学部教授
耐震実験センター長	青木 徹彦・工学部教授
地域防災研究センター長	正木 和明・工学部教授
エコ電力研究センター長	一柳 勝宏・工学部教授
高大連携推進室長	鈴木 達夫・経営学部教授
本山キャンパス長	近藤 高司・経営学部教授
国際交流室長	櫛田玄一郎・工学部教授
戦略的大学連携室長	曾我部博之・工学部教授

それぞれの新しく就任しました。その他のスタッフは留任となっています。  
 (写真は、上段左から近藤・経営学部長、阿部・情報科学部長、柳井・基礎教育センター長、山田・教学センター長、服部・同副センター長、建部・入試センター長、下段左から鈴木・高大連携推進室長、曾我部・

戦略的大学連携室長)



新総長補佐に澤木工学部教授

総長補佐、学長補佐の皆さまは下記の通りです。四月から工学部電気学科教授に就任した澤木宣彦氏が新しく総長補佐に加わりました。

(写真は、後藤淳理事長から辞令を受け取る澤木教授(左))

総長補佐、学長補佐の皆さま

総長補佐	大根 義男・工学部特任教授	学長補佐	酒井 忠雄・工学部教授
総長補佐	架谷 昌信・工学部教授	学長補佐	坪井 常世・工学部教授
総長補佐	野村健太郎・経営学部教授	学長補佐	櫛田玄一郎・工学部教授
総長補佐	澤木 宣彦・工学部教授	学長補佐	鈴木 達夫・経営学部教授
		学長補佐	曾我部博之・工学部教授

愛工大、附属中学校の各整備進める

学園は現在、名古屋市千種区で愛工大経営学部の拠点となる名古屋自由ヶ丘キャンパス（略称 自由ヶ丘キャンパス）を建設中のほか、来年中に八草キャンパス内に新1号館（仮称）を新設。また、附属中学校の新校舎建設と各設置校の施設整備を進めています。

名古屋 自由ヶ丘キャンパス



自由ヶ丘キャンパス完成イメージ

来年四月に開設を予定している愛工大・名古屋自由ヶ丘キャンパスの地鎮祭が四月十六日、建設地の名古屋市千種区自由ヶ丘で行われました。名古屋自由ヶ丘キャンパスは、地上四階、地下一階で、延べ床面積は約四千七百五十平方メートル。今年四月に新設された経営学部のキャンパスとして、同学部の経営情報システム専攻、ビジネスマネジメント専攻の二専攻が入ります。

講義室、研究室のほか市民も利用できる交流ラウンジなども設ける予定です。地下鉄名城線・自由ヶ丘駅に近く通学に便利で、また、本山キャンパスにも近いなど魅力に富んだキャンパスといえます。

地鎮祭には後藤淳理事長、後藤泰之学長、近藤高司経営学部長ら学園、大学幹部、建設関係者らが出席しました。後藤淳理事長が鍬（くわ）入れなどを行って、工事の安全を祈願しました。工事が予定通りに進めば、来年三月末に完成のはこびとなります。



地鎮祭で工事の安全を祈り鍬入れをする後藤淳理事長

新1号館



八草キャンパスの新たなシンボルとなる新1号館（右建物）の完成イメージ

四月から三学部体制となり「工科系総合大学」として新たな一步を踏み出した愛工大の八草キャンパスには、取り壊した1号館跡に「新1号館」（仮称）を来年夏の完成を目指し、建設します。新館は、七階建て延べ床面積約七千六百平方メートルで、館内には、国内最高水準のメディア制作環境を備えたメディアラボ、学生らの交流や憩いの場となるオープンデッキ、カフェなども設けられます。

附属中学校に新校舎

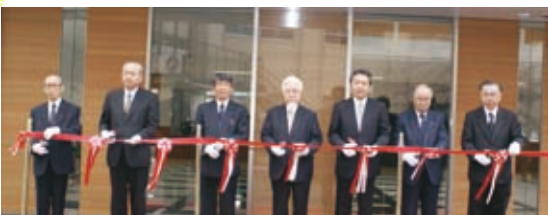
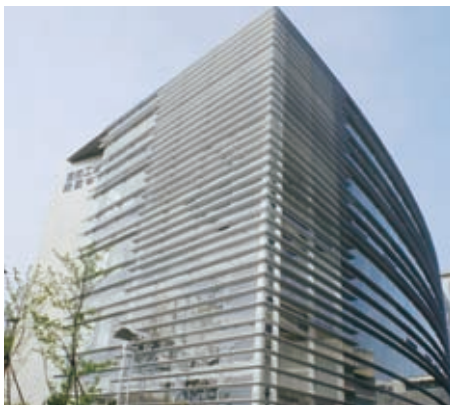
新しく建てられた愛工大附属中学校校舎の竣工式が三月三十一日、名古屋市千種区若水の同所で行われました。

学園は、古い校舎を取り壊した跡に地下一階、地上五階建て延べ床面積五千九百八十平方メートルの新校舎を、建設しました。校舎は隣接の名電高校とマッチした明るい造りで、教室以外に地下一階に旧校舎になかった二百人収容の大講義室、三百人収容の多目的ホール

理事長らがテープカットし完成祝い

があります。竣工式は新校舎正面玄関前で行われ、後藤淳理事長が「新校舎完成を機に中学、高校を擁することを」若水キャンパスとして、両校の一層の発展を目指していきたい」とあいさつした後、理事長、後藤泰之学長、佐藤忍名電高校校長、横地徹附属中学校校長、工事関係者らが紅白のテープにはさみを入れ、完成を祝いました。中学校は四月六日の入学式の後、新学期をスタートしました。

明るく機能的な附属中学校新校舎



新校舎完成を祝って正面玄関前にはられた紅白のテープにはさみを入れる後藤淳理事長（右から4人目）、後藤泰之学長（同3人目）

## 平成21年4月1日付の組織変更と人事異動

## ◇人事関係

## ◆組織変更(4月1日)

## ＜大学の学部・学科再編＞

平成20年度(変更前)			平成21年度(変更後)		
工学部	電気学科	電気工学専攻 電子工学専攻 情報通信工学専攻	工学部	電気学科	電気工学専攻 電子情報工学専攻
	応用化学科	応用化学専攻		応用化学科	応用化学専攻 バイオ環境化学専攻
	機械学科	機械工学専攻 知能機械工学専攻		機械学科	機械工学専攻 機械創造工学専攻
	都市環境学科	土木工学専攻 建築学専攻 建築コース 住居デザインコース		都市環境学科	土木工学専攻
				建築学科	建築学専攻 住居デザイン専攻
経営情報科学部	経営学科	経営情報専攻 マーケティング専攻 スポーツマネジメント専攻	経営学部	経営学科	経営情報システム専攻 ビジネスマネジメント専攻 スポーツマネジメント専攻
	情報科学科	コンピュータシステム専攻 メディア情報専攻	情報科学部	情報科学科	コンピュータシステム専攻 メディア情報専攻

## ＜事務組織の変更等＞

- ▼「学園事務局」と「大学事務局」、及び「総合企画本部」を統合し、「事務局」とする。
- ▼「学園百周年事業準備室」、「学園企画推進室」を新設する。
- ▼「総長・学長室」は「秘書室」とし、「総務部」に置く。
- ▼「総合企画本部」の「企画広報課」は「広報課」として「総務部」に置き、「経営企画課」は大学の「大学企画推進室」と併せ、「学園企画推進室」に統合される。
- ▼「事務局」に「総務部」、「財務部」、「管理部」、「システム管理部」、「学園百周年事業準備室」、「学園企画推進室」を置く。
- ▼「総務部」に「秘書課」、「総務課」、「学務課」、「人事課」、「助成課」、「広報課」、「警備課」を置く。
- ▼「若水事務本部」を廃止する。「高校事務部」と「中学事務部」を統合し、「若水事務部」とする。
- ▼「経営情報科学部」、「経営学部」、「情報科学部」の事務体制は、各学部に「事務室」を設け、各学部・学科の事務を担当する。
- ▼高校と中学の渉外業務を行う「若水渉外部」を新設する。
- ▼「課長補佐」と「主査」の職名を統一し、「主査」とする。

## ◆人事異動(4月1日付、退職、任期満了、委嘱終了及び兼務解除は3月31日付)

(カッコ内は前職、「・」は兼務、大学教員の専攻名、組織名称の変更者、及び敬称は省略)

## 【任命】(継続・再任を除く)

(大学)

経営学部長	経営学部経営学科教授・経営情報科学部長・本山キャンパス長	近藤	高司
情報科学部長	情報科学部情報科学科教授	阿部	圭一
基礎教育センター長	基礎教育センター教授	柳井	裕道
教学センター長	工学部応用化学科教授	山田	英介

入試センター長	工学部建築学科教授	建部 謙治
高大連携推進室長	経営学部経営学科教授・学長補佐	鈴木 達夫
教学センター副センター長	経営学部経営学科教授	服部 洋兒

**【新規採用】**

(大学)

工学部電気学科教授・総長補佐	澤木 宣彦
工学部応用化学科教授	早川 芳宏
情報科学部情報科学科教授	末永 康仁
情報科学部情報科学科教授	小林 正
工学部機械学科准教授	奥川 雅之
基礎教育センター准教授	大島 和幸
基礎教育センター講師	川口 洋誉
情報科学部情報科学科講師	水野 慎士

(高校)

教諭	後藤 敏春
教諭	近藤 孝芳
教諭 (常勤講師)	安武 正浩
教諭 (常勤講師)	大澤 和貴
教諭・中学教諭 (常勤講師)	風岡 陽子
教諭・中学教諭 (常勤講師)	梅村 和正

(中学)

教諭・高校教諭 (常勤講師)	福嶋 則人
----------------	-------

**【新規委嘱】**

(事務局)

総務部付 (大学学生支援本部キャリアセンター次長) = 嘱託	石川 貴之
--------------------------------	-------

(大学院)

工学研究科客員教授	本水 昌二
経営情報科学研究科客員教授	神尾 隆
工学研究科ポストドクトラル研究員	スワノオ・ラタナイマルワソ

(大学)

工学部都市環境学科特任教授 (同教授)	森野 奎二
工学部機械学科客員教授 (特任教授)	酒井 春雄
工学部建築学科客員教授 (教授)	比嘉俊太郎
工学部都市環境学科客員教授	小島 浩司
基礎教育センター客員教授	川合 政仁
研究支援本部総合技術研究所客員教授・大学産学連携コーディネーター	熊沢 英博
入試本部入試センター参与 (同参事) = 嘱託	吉田 光善
工学部機械学科嘱託技術職員	瀧川 幾朗
工学部機械学科嘱託技術職員	松野 政数
基礎教育センター嘱託技術職員	大鐘 亮

(専門学校)

特任教授 (同教授)	島 悦郎
事務部嘱託職員	栗本 武司

(若水事務部)

嘱託職員	真田 浩二
------	-------

(高校)

常勤講師	橋本慎太郎
常勤講師	藤澤 和子
常勤講師・中学常勤講師	柴田 暁文
常勤講師・中学常勤講師	森 啓樹

嘱託技術職員	伊藤 大助
(中学)	
常勤講師・高校常勤講師	荒川 洋吏
常勤講師・高校常勤講師	平岩 大作
<b>【昇格】</b>	
(事務局)	
財務部長(学園事務局財務部次長)	川出 善晴
総務部総務課係長(同事務主任)	中野 正博
財務部会計課係長(同事務主任)	奥野 佳宏
(大学)	
工学部都市環境学科教授(同准教授)	内田 臣一
工学部建築学科教授(都市環境学科准教授)	神谷 清仁
工学部建築学科教授(都市環境学科准教授)	松本壮一郎
経営学部経営学科教授(同准教授)	小森 清久
情報科学部情報科学科教授(工学部電気学科准教授)	中村 栄治
工学部機械学科准教授(同講師)	中山 雄行
工学部都市環境学科准教授(同講師)	岩月 栄治
学生支援本部教学センター次長(経営情報科学部事務室事務長)	河野 信
工学部機械学科事務室主査(同係長)	林 葉子
学生支援本部主査(同係長)	河野ひとみ
図書館図書課主査(同係長)	加藤 直美
図書館図書課主査(同係長)	有田 哲治
工学部都市環境学科事務室係長(同事務主任)	宮川早和子
学生支援本部教学センター教務課係長(同事務主任)	高間 智美
学生支援本部教学センター学生課係長(同事務主任)	榭岡 憲司
学生支援本部教学センター学生課事務主任(同事務職員)	藤堂 友子
(専門学校)	
事務部主査(同係長)	兼子 聡
(若水事務部)	
事務長(若水事務本部事務部長・高校事務部事務長)	若杉 和彦
主査(中学校事務部係長・高校事務部係長)	増田 朗
(若水渉外部)	
副部長(中学事務部事務長)	小田 悠祐
係長(若水事務本部高校事務部事務主任)	岩科 誠治
<b>【所属変更・兼務・職名変更等】</b>	
(学科再編による教員の異動、事務組織変更・組織名称変更による事務職員の異動、中学高校間の教員の異動、課長補佐から主査への職名変更及び大学研究費不正防止推進室の兼務・兼務解除は省略)	
(事務局)	
局次長・大学事務局長(大学事務局長)	宍戸 哲
局次長・事務局総務部長(総合企画本部長)	後藤 尚之
参与・事務局学園百周年事業準備室長(学園事務局総務部長)	林 憲二
学園企画推進室長・大学入試本部入試センター次長・同入試課長(大学入試本部入試センター次長・同入試課長・大学企画推進室課長)	鈴木 康
(大学)	
研究支援本部事務長・同課長(大学教学センター次長)	原田 建
本山キャンパス事務室事務長・経営学部事務室事務長(大学本山キャンパス事務室事務長)	宇田 秀樹
経営情報科学部事務室事務長・情報科学部事務室事務長(大学基礎教育センター事務室課長)	佐藤 友泰

基礎教育センター事務室課長（大学研究支援本部課長）	水野 一平
経営学部事務室主査・経営情報科学部事務室主査（大学経営情報科学部経営学科事務室課長補佐・同情報科学部事務室課長補佐）	小島 雅子
基礎教育センター事務室係長（大学機械学科事務室係長）	柏本智恵美
情報科学部事務室係長・経営情報科学部事務室係長（大学学生支援本部教学センター教務課係長）	工藤 洋子
学生支援本部教学センター教務課事務主任・事務局学園企画推進室事務主任（大学学生支援本部教学センター教務課事務主任・大学企画推進室事務主任）	山田 真吾
入試本部入試センター入試課事務職員・事務局学園企画推進室事務職員（大学入試本部入試センター入試課事務職員・大学企画推進室事務職員）	石原 弘士
経営情報科学部経営学科事務室事務職員・情報科学部事務室事務職員（大学経営情報科学部経営学科事務室事務職員・同情報科学部事務室事務職員）	高田 奈美

(高校)

教諭・若水渉外部長	平田 俊之
教諭・若水渉外部教諭	犬飼 由彦
教諭・若水渉外部教諭	日比野義行

**【兼務解除】**

（組織の統合等により廃止された部署の兼務解除、任期付職務、本務と兼務の入替えによる兼務解除は省略）

(事務局)

学園事務局財務部長の兼務を解く	事務局長	三輪 博美
学園事務局総長・学長室事務主任の兼務を解く	事務局総務部人事課事務主任	後藤 珠水

(大学)

基礎教育センター長の兼務を解く	基礎教育センター教授	吉賀 憲夫
教学センター長の兼務を解く	工学部都市環境学科教授	成田 国朝
入試センター長の兼務を解く	工学部機械学科教授	渡辺 修
高大連携推進室長の兼務を解く	工学部応用化学科教授	稲垣 慎二
教学センター副センター長の兼務を解く	情報科学部情報科学科教授	伊藤 雅

**【退職】** ( ) 内は21年度

(大学)

機械学科 加藤厚生教授▽都市環境学科森野奎二教授（特任教授）、比嘉俊太郎教授（客員教授）、林金之教授▽情報科学部 櫃田倍之教授▽基礎教育センター 小木曾基弼教授、ジョン・ヒュゲット准教授▽キャリアセンター 石川貴之次長（事務局総務部付）▽入試センター 吉田光善参事（参与）▽研究支援本部 永田純作事務長

(専門学校)

島悦郎教授（特任教授）

(高校)

桜井正一学監・中学学監、河口一雄教諭、羽佐田修二教諭、中丸秀俊教諭、武田真知子教諭

(中学)

山田真紀教諭

**【任期満了】** ( ) 内は21年度

(大学)

経営学科 白岩義夫特任教授・専門学校長（専門学校長）▽機械学科 酒井春雄特任教授（客員教授）

**【委嘱終了】**

(大学)

応用化学科 柘植新客員教授▽基礎教育センター 佐藤嘉國客員教授、飯塚雄紀実習補助員（3/20付）▽機械学科 今泉勝嘱託職員、加藤勝治嘱託職員、下里広実習補助員▽都市環境学科 深瀬雅央実習補助員、黒澤啓之実習補助員▽ポストドクトラル研究員 康暁紅▽管財課 河村幸博嘱託職員（出向）

(高校)

加藤雅子常勤講師、宮田一輝実習補助員

(中学)

西川健常勤講師・高校常勤講師

【休職】

3月25日付

大学学生支援本部エクステンションセンター係長 竹松 宏

活躍期待しています

ご苦労様でした



平成21年度各辞令交付式

新規採用者の辞令交付式は4月1日午前、本部棟内の会議室で行われました。後藤淳理事長が、愛工大など各設置校教員に就任した15人一人ひとりに辞令を手渡した後、激励しました。また、任命・昇格者辞令交付式も午後から行われ、理事長が昇格者ら一人ひとりに辞令を手渡しました。

(写真は、新規採用者の辞令交付式)

平成20年度退職者辞令交付式

3月27日、本部棟2階会議室で開かれ、後藤淳理事長が定年退職者一人ひとりに、辞令と記念品を手渡しました。理事長が、退職者の経歴や業績などを紹介し、学園への功労をたたえた後、比嘉俊太郎教授が代表し、謝辞を述べました。

(写真は、後藤淳理事長=右から4人目=を囲み記念写真に収まる退職者ら)

の卒業生らが、記念写真を撮り合っていました。また、各サークルの部員らが、晴れ着姿の先輩に花束贈呈や胴上げで、門出を祝福するシーンがあちこちで見られました。

卒業生を代表し電気学科の鈴木利文君が、謝辞を述べました。式場の鉦徳館入り口では、卒業式の立て看板の前にスーツやはかま姿

卒業生の門出を祝福して行われた愛工大の卒業式



学園各設置校の愛工大、愛工大情報電子専門学校、愛工大名電高校、愛工大附属中学校で三月から四月にかけて、卒業式、入学式が華やかに行われました。式典、卒業生、新入生の様子をペンやカメラで追いました。

愛工大

◎：三月二十三日、豊田市八草町の八草キャンパスの講堂兼体育館・鉦徳館で行われ、一千三百七十六人が巣立っていきました。

卒業生は、工学部一千九十九人、経営情報科学部二百七十七人、大学院修了者は博士前期課程七十七人、博士後期課程を修了して論文審査に合格、博士となった三人です。

本学管弦楽団による「祝典行進曲」の演奏に続いて、後藤泰之学長が三人の博士に博士の学位記を、博士前期課程の代表に修士の学位記、学部の代表に卒業証書・学位記を、それぞれ授与しました。その後、卒業生に「豊かな人間性と確かな学識、そして広い視野と高い志をあわせ持った新しい時代の担い手になることを期待します」と、はなむけの言葉を贈り、後藤淳理事長・総長が「大学等で培った技術と知識を生かし、産業界で大いに活躍してください」とあいさつしました。成績



写真上は、晴れ姿の子どもの姿を写真に撮る保護者。写真下は、後輩らに胴上げされる卒業生



愛工大情報電子専門学校



卒業生を代表して謝辞を述べる高度報処理学科の鈴木富貴君

夢に向かってスタート

◎：三月十七日、四階講義室で行われ、白岩義夫校長が五十八人の卒業生を代表して高度情報処理学科の伊藤晃矩君に卒業証書を授与し「工夫の精神をもって何事にも取り組み、周りの人をおもいよびかかるとコミュニケーションを養ってくださ

た。続いて後藤淳理事長が「どんな困難にも本校で習得した学力、体力そしてチャレンジ精神で乗り越えて、夢をつかんでください」とあいさつ、来賓の関範夫豊田市産業部長が「ここで学んだ技術、知識を地元で活用してください」と、鈴木公平市長の祝辞を代読しました。学校表彰、外部団体表彰の後、卒業生を代表して高度情報処理学科の鈴木富貴君が、謝辞を述べました。

卒業式の後、各教室で担任が「これからの人生では、甘えは許されません。頑張ってください」と激励し、学生一人ひとりに卒業証書を渡して握手し、卒業を祝福していました。卒業生は、学内や正面玄関前で互いに記念写真を撮り合い、別れを惜しんでいました。

同校によると、平成二十年度卒業生の就職率は、ほぼ100%ということでした。



卒業式後、担任から祝福の言葉をかけられる卒業生(右)



壇上で、激励を込め神山達哉君と握手する佐藤忍校長

校長が卒業生代表と握手し新しい一歩を祝福

愛工大名電高校

交えて「上の学校に進み名電の恩師を越える先生を目指したい」と答辞を述べ、壇上で激励の握手を佐藤校長から受けていました。卒業式の後、各クラスごとに担任が一人ひとりに卒業証書を手渡し、祝福の言葉をかけていました。



式の後、正面玄関前で在校生から胴上げで祝福される卒業生

感謝を込めて恩師に花束贈る

◎：三月十八日、名電高校講堂兼体育館の番徳館で行われ、九十九人に卒業証書が贈られました。式では、横地徹校長が卒業生代表の浅井大史君に卒業証書を授与した後、「健康な

愛工大附属中学校

成績優良者らの表彰に続いて、卒業生を代表し浦野寛崇君が答辞を述べ「人との出会いを大切にしてください」と、後輩に呼びかけました。この後、教職員、保護者の大きな拍手の中、式場を後にしました。各教室では、卒業証書を手渡された卒業生が、「長い間、ありがとうございました」と、恩師に花束を贈るなどしていました。



教え子から花束を贈られ、顔をほころばせる先生

体と心をつくり、高い目標に向かって、研さんを積んでください」と祝辞を述べ、後藤淳理事長が「皆さんが今後、いろいろな方向に進み、才能を伸ばし、活躍されることを願っています」と激励しました。

# 歓迎入学式

## 入学生、保護者が式場を埋める

◎：四月一日、講堂兼体育館の鉦徳館で行われ、広い館内を埋めた入学者と保護者の熱気に包まれました。



愛工大管弦楽団による「祝典行進曲」の演奏で始まった式典で、後藤泰之学長が「本学には五十年で培った、膨大な学識や技術の蓄積があり、皆さんの潜在能力が十二分に発揮されるように、教職員一同、全力でサポートします」と式辞を述べ、後藤淳理理事長も「学園は、次の時代をにらんだ新しい

施設の建設に取り組んでおり、新入生の皆さんはこの恵まれた教育環境の中で、勉学等に励んでください」と、あいさつしました。新入生を代表し、工学部機械学科機械創造工学専攻の橋内諒君が「勉学に精励し、本学の学生たることを誇りとし、学生としての本分を全うすることを誓います」と、宣誓しました。

四月から工学部、経営学部、情報科学部の三学部体制となった本年度の入学生は学部、大学院、編入学合わせて千六百五十七人で、前年度を上回りました。広い鉦徳館も、新入生と保護者で埋まり、盛り上がりました。式後には、キャンパス内で各クラブ、サークルの部員が、工夫を凝らした勧誘を繰り広げ、新入生を歓迎していました。(写真は、新入生、保護者で埋まった式場)

## 愛工大情報電子専門学校

◎：四月八日、同校四階の講義室で行われ、国歌斉唱の後、白岩義夫学長が「本校の掲げる教育目標を達成し産業界の期待に応えられるよう、自覚をもって意欲的に勉学に励んでください」と式辞を述べ、後藤淳理理事長が「勉学はもとより、心と体を鍛え、友情を育み、実り豊かな学生生活を、すごしてください」と、あいさつしました。来賓の関範夫豊田市産業部長が、市長の祝辞を代読し、情報工学科の林俊博君が五学科合わせ八十八人の新入生を代表して、「本校の建学の精神をわきまえて、学則を守り勉学に励みます」と誓いの言葉を述べました。



緊張した面持ちで式に臨む新入生

## 愛工大名電高校



講堂兼体育館の喬徳館で華やかに行われた入学式

◎：四月六日、講堂兼体育館の喬徳館で開かれました。吹奏楽部の華やかな演奏に迎えられ入場した新入生六百二十八人に、佐藤忍校長が入学許可宣言をした後、「新入生の皆さんに①自律の心を養う②人を思いやる心を育てる③知力・体力を培うの三つをお願いしたい」と式辞を述べ、後藤淳理理事長が「未来の夢をつかむために知識、技術を学び、さまざまなスポーツ、文化活動に励んでください」と、あいさつしました。

新入生を代表し、普通科の五十川雄大君が「校則を守り、勉学にクラブ活動に精いっぱい努力し

ます」と宣誓、式を終えました。

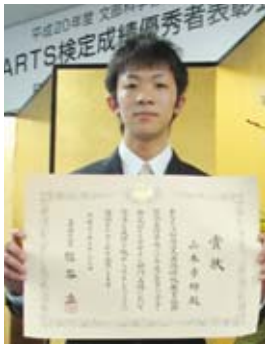
## 愛工大附属中学校

◎：四月六日、名電高校の講堂兼体育館・喬徳館で開かれました。新入生百四十四人を前に横地徹校長が、「皆さんが仲間と楽しく、仲の良い学校生活を送り、学習や運動に励み、心と体をバランスよく鍛え優秀な資質を成長させることを期待しています」と式辞を述べ、後藤淳理理事長が「さまざまな知識、ものを吸収し、中学生生活を楽しく充実したものにしてください」と、あいさつしました。



新入生を代表し國吉政宏君が、「校訓の誠実、勤勉の教えに従い勉学に努め、部活動に励みます」と宣誓しました。(写真は、宣誓する國吉政宏君)

### ACEの山本歩輝君が文部科学大臣・個人賞を受賞



愛工大情報電子専門学校の情報工学科コンピュータグラフィックス一年山本歩輝君が三月、画像情報教育振興協会の文部科学大臣賞・個人賞を受賞しました。同協会は前年度から実施する検定で、個人、団体の成績優秀者に対して文部科学大臣賞を新設しました。山本君は、文科省後援後期CGクリエイター検定Webデザイン部門3級とデジタル映像部門3級を

受検、いずれも最高点に輝き、Webデザイン部門3級で個人賞に選ばれました。山本君は三月二十六日に東京の画像情報教育振興協会で行われた表彰式に出席、表彰を受けました。

【写真は、表彰状を手にした山本歩輝君】



### 名電高校の吉田圭佑君が高校相撲界最高峰の『日本相撲連盟優秀個人賞』を受賞



名電高校相撲部の吉田圭佑君（普通科三年）が、三月、日本相撲連盟の「平成二十年優秀個人賞」を受賞しました。優秀個人賞は、各相撲界のトップに立った人たちに贈られます。

吉田君は、昨年の七月二十九日～三十一日、埼玉県秩父市文化体育センターで開かれた「平成二十年全国高校総体相撲競技大会」の個人戦で優勝、「高校生横綱」に輝きました。それらを含む各大会で、優秀な成績を収めたことで、日本相撲連盟優秀個人賞を受賞しました。吉田君は小学生から相撲を始めており、今回の優秀個人賞受賞に「あこがれの賞だったので、うれしいです」と話していました。現在、相撲部の主将を務めています。

【写真は「平成二十年優秀個人賞」受賞の吉田圭佑君】

### 3教授に「平成20年度学長賞」



研究、学生指導などで大学の発展に寄与した教職員に贈られる平成20年度「学長賞」に、鈴木達夫学長補佐・経営学部経営学科教授、成田国朝工学部都市環境学科教授、山田英介教学センター長・工学部応用化学科教授の3氏が、選ばれました。

鈴木教授は経営情報科学部長、本山キャンパス長等を務め、大学の基盤的体制の整備、オープンカレッジ開催など地域貢献に寄与。成田教授は学生支援本部教学センター長を務め、カリキュラム改革、シラバスの整備、学生支援体制の整備等に貢献。また、山田教授は長年、高分子化学の研究に携わり研究成果を挙げるとともに、日本接着学会副会長なども務め、学会関係の発展にも貢献しました。

表彰式は4月1日、八草キャンパス内の10号館で開かれた年度初め式の中で行われ、後藤泰之学長が鈴木教授ら3氏の表彰者と業績を紹介し、一人ひとりに学長賞と記念品を贈りました。

【写真は、学長賞受賞を記念して後藤泰之学長（前列右から3人目）ら大学幹部と記念写真に収まる、成田教授、鈴木教授、山田教授の3氏（前列右から）】

### イチロー選手

名電高がイチロー選手の偉業を称える垂れ幕

名電高校野球部OBで米大リーグ、シアトルマリナーズのイチロー（本名・鈴木一朗）選手が四月十六日（日本時間十七日）、エンゼルス戦で安打を打ち、張本勲氏（元

東映など）の持つ日本プロ野球最多安打記録（三千八百五本）を抜きました。母校の同校は「生徒らの励みになれば」と、正門玄関前の時計塔に「祝イチロー選手日本新記録おめでとう」と、書かれた高さ約十メートルの垂れ幕をかけました。また、玄関ロビーにも、紙に書いた手作りの「イチロー先輩日本新記録おめでとう」を飾り、新記録達成を祝福しました。イチロー選手は平成元年、名電高校に入り、野球部員として活躍し、春と夏の二度、甲子園に出場しています。



イチロー外野手の新記録達成を祝う「日本新記録おめでとう」が飾られた高校の正面玄関ロビー

技術と練習の成果を競い合う  
**ロボカップジュニア東海ブロック大会**



**サッカーチャレンジ競技**

てきた小学生から高校生までの合わせて六十八チーム、約二百人が出場。参加三十チームと出場数が最も多かったサッカーでは、ロボット同士が白熱した戦いを繰り広げ、観客を楽しませました。

「ロボカップジュニア東海ブロック大会」が三月二十日、愛工大八草キャンパスの講堂兼体育館・鉦徳館で開催されました

**チャレンジ**

チームワークと技術力を競い合う  
**名電高校ロボット、合唱コンクール**

一年生によるロボットコンクールと合唱コンクールが二月十九日、名電高校講堂兼体育館・喬徳館、武道場二階で行われ、チームワークや技術力を競い合いました。



**ロボットの動きを守る生徒**

が対象で、工業技術基礎の授業で作ったセンサーロボットを決められたコース上を走らせ、ゴールまでのタイムを争いました。五クラスから各四チームが、趣向を凝らしたロボットを出し、二チームずつ対戦しました。ス

**《合唱コンクール》**

普通科生徒が参加。授業で学んだクラス合唱の成果を競い合おうと三年前から始めました。指揮や伴奏も、全て生徒の手づくりで行うコンクールです。



**生徒手作りの合唱コンクール**

内狭しと、響かせるため、職員も披露した。また、

の瞳」から始まった合唱に耳を傾けました。合唱には、クラス全員が壇上に立ち、練習の成果を館

**総会・講演会開催**

学園の支援組織・学校法人名古屋電気学園愛名会の平成21年度総会・講演会が5月15日、名古屋市中区栄の名古屋東急ホテルで開催されました。

総会では神尾隆会長が「本年度も学術、就職交流事業を積極的に行っていきます」、名誉会長の後藤淳理事長が「厳しい経済状況ですが、今後とも愛名会のご支援、ご協力よろしくお願ひします」とそれぞれあいさつ。この後、総会前に開かれた理事会で承認された平成21年度事業計画

や予算等の報告がありました。引き続き講演会が行われ、講師の作曲家で東京音楽大教授の三枝成彰氏が、「音楽から見た西洋と東洋」と題して、西洋と日本の音楽の違いを楽譜、メッセージの有無等を例に、わかりやすく話しました。

**愛名会 便り**



**音楽への深い造詣で出席者を魅了した三枝成彰講師**

**編集後記**

▼ものづくりの人材育成を柱とする愛工大は今年、開学してから半世紀を迎えました▼ものづくりは、後藤淳学園理事長、後藤泰之学長も、折に触れて、口にしています▼理事長が「資源のない日本に欠かせないものはものづくり―技術の力である」、学長が「ものづくりを柱に、人の痛みのある人間性溢れた、豊かな技術者を育てたい」と、話しているのを耳にしたことがあります▼編集子も、ものづくりという温かい言葉と響きは大好きです。世界不況の中で、景気回復の力ぎの一つは、新しいモノを産み出す、ものづくりにあります▼現実はと言うと、アメリカで始まった産業の空洞化が日本でも進展▼その結果、経済再生で不可欠の、ものづくりを支えてきた製造業などがどんどん減っています▼ものづくりの生きた教育のためなら、映画までつくってしまうという本学▼この恵まれた中で学ぶ生徒、学生には、ものづくりの継承者として、その精神をしっかりと受け止め、頑張っしてほしいと思います。

(久)